

令和2年度

# 事業報告書

令和2年4月1日から

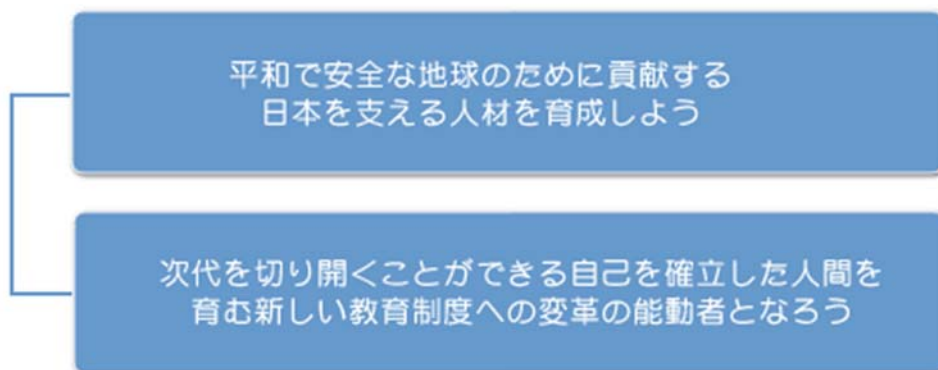
令和3年3月31日まで

学校法人 八洲学園

## 1. 法人の概要

### (1) 学園のミッション

八洲学園では2つのミッション ステートメントを掲げております。



### (2) 学校法人の沿革

- 1948年 奈良県においてヤシマ裁縫学院として奈良県知事の認可により創立。
- 1951年 私立学校法施行により、学校法人八洲学園を設立。ヤシマ文化学園並びに天理経理学校を併設する。
- 1952年 大阪市東区（現中央区）において大阪経理専修学校を設立。
- 1954年 大阪経理専修学校を玉造経理専門学校と改称。
- 1966年 玉造経理専門学校の発展に伴い通学の便をはかり、阪和線堺市鳳地区に鳳経理専門学校を設立。
- 1969年 大阪市天王寺区に玉造タイピスト学校を設立。
- 1976年 玉造経理専門学校、鳳経理専門学校、天理経理専門学校、ヤシマ文化学園が専修学校認可を受ける。
- 1977年 鳳経理専門学校高等課程が技能連携指定校（文部大臣認可）とし卒業生に高校卒業資格が与えられる。
- 1978年 鳳経理専門学校専門課程は産業能率短期大学との提携により通信制を併学し、短大卒業資格を得る。
- 1979年 鳳経理専門学校高等課程を分離し、鳳経理高等専修学校の設立認可をうける。
- 1985年 鳳経理高等専修学校の卒業生に、文部大臣より大学入学資格が与えられる。
- 1986年 玉造経理専門学校新校舎完成。鳳経理専門学校とともに校名を、ヤシマ情報経理専門学校と改称。
- 1992年 ヤシマ情報経理専門学校鳳校を廃校し、八洲学園高等学校の設立認可をうける。
- 1994年 ヤシマ情報経理専門学校に高等課程を設置
- 1995年 ヤシマ総合ビジネス専門学校（旧玉造タイピスト学校）をパソコンワープロカレッジ専門学校と改称。
- 1997年 八洲学園高等学校広域の認可を受け、東京本部（新宿区）を設置。
- 1998年 鳳商業高等専修学校を八洲学園高等専修学校と改称。
- 1998年 八洲学園高等学校梅田、渋谷、池袋会場を開設。
- 1999年 八洲学園高等学校上野、横浜、三ノ宮、京都、奈良会場開設。
- 2000年 八洲学園国際高等学校（沖縄）を設置。
- 2000年 八洲学園高等学校東京本部2号館完成。
- 2001年 パソコンワープロカレッジ専門学校内に学園本部を設置。
- 2002年 パソコンワープロカレッジ専門学校とヤシマ情報経理専門学校統合、西日本柔道整復専門学校設置。
- 2004年 八洲学園大学開学。
- 2006年 八洲学園国際高等学校を八洲学園大学国際高等学校に改称。
- 2017年 福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校の移管を受け、福岡女子商業高等学校として設置。
- 2017年 ESA音楽学院専門学校を設置。

(3) 設置する学校 (令和3年3月31日現在)

設置学校名	学(校)長名	学校所在地	学校設置認可年月日	男女校種別
八洲学園大学	水戸部 優子	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42	平成 15 年 11 月 27 日	男女
八洲学園高等学校	林 周剛	大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3	平成 04 年 03 月 31 日	男女
八洲学園大学国際高等学校	中村 成希	沖縄県国頭郡本部町備瀬 1249	平成 12 年 03 月 31 日	男女
八洲学園高等専修学校	谷口 充	大阪府堺市西区鳳中町 4-132	昭和 54 年 04 月 01 日	男女
ESA 音楽学院専門学校	森上 芳郎	大阪府大阪市天王寺区玉造元町 2-6	平成 29 年 01 月 13 日	男女
福岡女子商業高等学校	柴田 晴夫	福岡県那珂川市片縄北 1-4-1	平成 29 年 03 月 09 日	女

(4) 学部・学科・学生等の状況 (令和2年5月1日現在)

※大学は正科生のみで科目等履修生は含まない。

学校名	学部・学科等名	入学定員 (人)	入学者数 (人)	収容定員 (人)	在籍者数 (人)	収容率 (%)
八洲学園大学	生涯学習学部 生涯学習学科	入学定員 800 編入学定員 400	※ 293	4000	1890	47.3
八洲学園高等学校	通信制課程 (広域) 普通科	—	536	3000	1628	54.3
八洲学園大学国際高等学校	通信制課程 (広域) 普通科)	—	348	5000	1224	24.5
八洲学園高等専修学校	経理高等課程 商業科	40	25	120	65	54.2
ESA 音楽学院専門学校	文化教養課程 吹奏楽学科 吹奏楽実務学科	40 40	26 0	80 40	37 1	46.3 2.5
福岡女子商業高等学校	全日制課程 商業科	240	95	720	306	42.5

## (5) 役員概要 (令和3年3月31日現在)

定員数 理事5~7名 実数5名 ・ 監事2~3名 実数2名 4年任期

役員名	職名 担当職名	氏名	常勤 非常勤	就任年月日 (重任年月日)	選任区分	主な現職等
理事	理事長	和田 公人	常勤	平成9年5月29日 (平成29年6月14日)	2号	理事長 (学)早稲田学園理事 (学)令徳学園理事長
理事		林 周剛	常勤	平成27年4月1日	1号	校長
理事	事業理事	小森 嘉之	非常勤	平成14年9月30日 (平成29年6月14日)	2号	会社役員
理事		吉原 和仁	非常勤	平成15年5月29日 (平成29年6月14日)	2号	会社社長
理事		和田 みゆき	非常勤	平成21年6月14日 (平成29年6月14日)	3号	(学)令徳学園理事
監事		加藤 卓	非常勤	平成25年6月14日 (平成29年6月14日)		税理士
監事		岡 正俊	非常勤	平成28年4月1日 (平成29年6月14日)		弁護士

## (6) 評議員概要 (令和3年3月31日現在)

定員数 11~15名 実数12名 4年任期

氏名	主な現職等	選任区分	備考
林 周剛	八洲学園高等学校校長	1号	兼理事
谷口 充	八洲学園高等専修学校校長	1号	
柴田 晴夫	福岡女子商業高等学校校長	1号	
水戸部 優子	八洲学園大学学長	1号	
中村 成希	八洲学園大学国際高等学校校長	2号	
石渡 知美	八洲学園本部職員	3号	
吉原 和仁	会社社長	4号	兼理事
小森 嘉之	会社役員	4号	兼理事
和田 みゆき	(学)令徳学園理事	4号	兼理事
松本 真尚	会社役員	5号	
古川 直季	市議員	5号	
和田 公人	理事長 (学)早稲田学園理事 (学)令徳学園理事長	5号	兼理事

(7) 教職員の概要（令和2年5月1日現在）

		合計	八洲学園大学	八洲学園 高等学校	八洲学園大学 国際高等学校	八洲学園高等 専修学校	ESA 音楽学院 専門学校	福岡女子商業 高等学校
教 員	本 務	119	21	49	13	5	4	27
	非 常 勤	187	51	94	9	5	17	11
職 員	本 務	25	6	13	2	0	2	2
	兼 務	26	7	8	8	2	1	0

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化の進行や経済状況の変化等により、厳しい状況にある。  
このような中、各学校は以下の取り組みを行っている。

【八洲学園大学】

- ・様々なウェブ広報により学生定員の確保を進めた（令和2年度の入学者数は前年度比131%）。
- ・専任教員2名及び専任職員2名を採用し、健全な大学運営を推進した。
- ・自宅からの授業配信、教室等の換気・消毒、職員の在宅勤務併用や事務局の2班体制など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、学事予定に変更を生じることなく運営した。
- ・平成26年から労働基準監督署の是正勧告を受けていた衛生管理者不選任及び衛生委員会未設置に関し、第二種衛生管理者資格取得と「衛生委員会に関する細則」制定等による令和3年度からの衛生委員会再開決定により、是正を完了した。
- ・平成29年度に受審した公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価にて「改善を要する点」として指摘された事項について、改善状況報告書を提出した。
- ・ハラスメント防止のための教職員アンケートを実施し、結果を共有してハラスメント防止を推進した。
- ・総務委員会内に危機管理担当を置き、危機管理マニュアルを策定した。
- ・私学事業団が定める「社会人の組織的な受入れ」の取り組みを実施し、経常費補助金（特別補助）の獲得を推進した。
- ・学生や教職員の要望を元にeラーニング・システム「SOBA マナベル」「SOBA e-college」の改良を進めた。
- ・「リカレント研究員」制度を新設した。

【八洲学園高等学校】

- ・通信制高等学校として、通学型のサポートクラス、通信型の通信クラス、技能連携校、科目履修生、中等部の生徒への教育活動
- ・教育講演会、体験活動など、教育関係者との情報交換や地域の方との交流の場を設け、社会貢献活動

### 【八洲学園大学国際高等学校】

- ・「高等学校教育を受けられなかった青少年に就学の機会を与えること」を主たる目的とし、5月1日現在で全国45都道府県より幅広く生徒を受け入れた。
- ・令和4年度より移行が始まる次期学習指導要領へのソフト・ハード面の準備を進めている。
- ・文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等に準拠して新型コロナウイルス感染症感染予防対策を徹底して安全安心な学校環境を構築し、教育活動を行った。
- ・八洲学園大学との高大連携、およびESA音楽学院専門学校との高専連携事業を実施し、内部進学に結び付けた。

### 【八洲学園高等専修学校】

- ・発達障害を中心とするライフキャリア教育を更にすすめるとともに生涯学習として、特に青年期は移行教育について文科省の政策をふまえて実践を重ねていった。
- ・主な事業の目的・計画及びその進捗状況  
文科省の生涯学習や権利条約の教育を反映し、更に教育年限の延長とその先の高等教育についても具体的に考え他の機関と連携を図れた

### 【ESA音楽学院専門学校】

- ・吹奏楽を職業にと考える人達の専門学校として、生徒のリペア技術の習得向上、演奏技術の習得向上をめざした。

### 【福岡女子商業高等学校】

- ・本校は、平成29年度より学校法人八洲学園として新たなスタートをした。この私学化を契機として、商業教育の特色化を図るとともに、部活動強化に取り組むなど、中学生にとって魅力ある教育活動を展開し、入学生の増加を図る。
- ・第2体育館の新設に伴い、生徒だけにとどまらず、地域、一般に開放し開かれた学校として地域に貢献をする。
- ・教職員の技術を高めるために積極的に企業との人的交流を図る。
- ・福岡大学と提携し、企業理念や経営理念を取り入れた女子商マルシェの見直しを計り、研究を進める。

## (2) 主な事業の目的・計画及び進捗状況

当該年度に実施した事業は以下の通りである。

### 【八洲学園大学】

- ・主な事業の目的・計画及び進捗状況

#### ①生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材の育成

事項	概要	進捗状況
カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成	カリキュラム・ポリシーを整備し体系的な教育課程を編成する。	・令和2年度より「学習のてびき」にもカリキュラム・ポリシーを明記し学生に周知。 ・令和元年度末に整備した科目新設(変更、廃止)申請方法の本格運用開始。
ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化	ディプロマ・ポリシーを整備し評価指標を明確化する。	・令和2年度より成績評価基準(GPA制度等)導入。「学習のてびき」にディプロマ・ポリシーを明記し学生に周知。 ・12月に「シラバス作成要領」を全教員に再交付し、到達目標や評価方法など記載内容の充実を推進。

事項	概要	進捗状況
多様な学習支援	e ラーニング・システムを活かした支援や学生支援センターによるきめ細やかな支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度より「学習のてびき」「レポートの書き方ハンドブック」冊子版を新入生に配布。また、コロナ対応として「学修に活用可能な Web 上の情報源リスト」作成（SOBA マナベル上で提供）。</li> <li>・例年に続きオンラインの支援センター説明・交流会を実施。</li> <li>・学生の意見を受け「レポートの書き方ハンドブック」改訂（9月1日第2版）、「学修に活用可能な Web 上の情報源リスト」改訂（10月1日第2版）。</li> </ul>

### ②学生が意欲をもつ学びの場の構築

事項	概要	進捗状況
アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ	アドミッション・ポリシーを整備し適切に学生を受け入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度よりアフィリエイトサイト追加、SPA サービス導入、ウーモア（福祉関係）掲載、正科生向けリスティング広告といった新たな広報を展開。</li> <li>・対象者別大学案内リーフレットに学士取得編入学向けを追加。</li> </ul>
学生の視点を育成に反映させる取り組み	学生の要望を科目の新設や教授法の開発に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度末実施の学生アンケートによる意見・要望に対応。</li> <li>・学生支援センターに届く e ラーニング・システムへの要望を随時システム会社に共有し改修を推進。</li> </ul>
学生の成長を促す取り組み	科目の充実等により学生の成長を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は社会福祉主事（任用）資格科目を中心に多数の科目を新設。</li> <li>・「初年次セミナー」のシラバス再検討、令和3年度からの教務委員による分担開講を準備。</li> </ul>

### ③時代の要請に応えた e ラーニングスタイルの提供

事項	概要	進捗状況
e ラーニング・システムの機能を生かした教授法の開発	学生や教職員の意見を反映し e ラーニング・システムの仕様改善を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度よりコロナ対応として学外（教員の自宅等）からの授業配信を実施。試験方式の科目修得試験をレポート方式に変更（一部）。</li> <li>・令和3年度も学外（教員の自宅等）からの授業配信継続を決定し、「授業配信ガイドライン」を整備。</li> </ul>
FD の実施	FD を実施し e ラーニングスタイルの教育の能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 FD 公開授業（授業参観）を例年より対象期間を拡大して実施。</li> <li>・令和2～3年度 FD 研修会として、日本学術振興会「研究倫理 e ラーニングコース」受講を推進。</li> </ul>
SD の実施	SD を実施し e ラーニングスタイルの教育や学生支援の能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で延期となった令和元年度 SD・FD 合同研修会の一部代替として、「パワーハラスメントオンライン研修講座」受講を推進（専任教職員対象）、4月就任の専任教員2名を含む計22名受講）。</li> <li>・3月に SD 研修会「大学通信教育の現状、そして今後に向けて」をオンライン開催、33名参加（学長・専任教員15名、非常勤講師7名、職員10名）。</li> </ul>

④生涯学習社会の実現に向けての研究開発の推進

事項	概要	進捗状況
カリキュラムの確認と再構築	生涯学習学社会の実現のために求められることを分析しカリキュラムを再構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度からの社会教育主事（任用）資格の要件変更に対応した科目を整備。</li> <li>・卒業生へのアンケート調査を行い、令和3年度のIT関連科目の新設を決定。</li> </ul>
FDの実施	FDを実施し研究開発を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度FD公開授業（授業参観）を例年より対象期間を拡大して実施。</li> <li>・令和2～3年度FD研修会として、日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」受講を推進。</li> </ul>
研究紀要の発行	八洲学園大学紀要を発行し公表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に導入したJAIRO Cloudへの紀要掲載を推進。</li> <li>・令和2年度八洲学園大学紀要論文を募集。</li> <li>・令和2年7月より「リカレント研究員」募集開始、3月に「リカレント研究センター論集」発行。</li> <li>・令和3年度から研究レポートや卒業論文等、紀要よりも投稿対象を広げた「八洲論叢」を発行予定。</li> </ul>

⑤グローバル化に対応した学習の提供

事項	概要	進捗状況
多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築	現行システムの弱点を補う新システムを開発する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「理解度ボタン」による出席管理システムの改修などを完了。引き続きSOBAマナベルの改修を推進。</li> </ul>
公開講座の新設	グローバル化に対応した公開講座を新設する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SOBA e-collegeにより、「横浜HC塾withライブ（八洲学園大学オンライン講座）」「宇宙138億年の歴史を6回ですべて俯瞰する（横浜HC塾withライブ）」「自分で自分らしく人生を切り開く教育～シュタイナー教育とは～」、「仕事に活かそうクラウドアプリ」、「司書の実務に関わる法律基礎講座～著作権編～」「教養としての法学入門」「ロシアはどこへ行くのか？—揺れる大国のアイデンティティー」「自然災害の歴史と調べ方」の8講座を新規開講。</li> <li>・公開講座講師募集ページを整備。</li> </ul>
科目群の整備	グローバル化に対応した科目群を整備する。	（平成30年度～外国語教育の科目等を検討。）

⑥キャリア形成や就職・転職支援の実施

事項	概要	進捗状況
就職・転職支援の充実	キャリアコーディネーター室による支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度より司書希望のシニア向け就活セミナーを開講、他に例年に続く6セミナーを開講し、9月は計117名、3月は209名が受講。</li> <li>・提携企業2社の会社説明会を実施し、9月は計40名、3月も計40名が受講。</li> </ul>
科目群の整備	キャリア教育科目を整備する。	（平成29年度～キャリア教育担当の専任教員を採用。）
公開講座の新設	キャリア形成に役立つ公開講座を新設する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に防災士養成講座を継続開講。</li> <li>・「仕事に活かそうクラウドアプリ」、「司書の実務に関わる法律基礎講座～著作権編～」など実務に役立つ講座を開講。</li> </ul>



⑦ 広く社会や地域に貢献

事項	概要	進捗状況
神奈川県や横浜市との連携	神奈川県や横浜市主催イベント等に参加し地域に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みなとみらいかもめ School」はコロナの影響で中止後、1月に Zoom で1講座開講。</li> <li>・「にしくらぶ」は YouTube 限定配信で開講。</li> <li>・「第 22 回図書館総合展」ポスターセッション参加（オンライン開催）。</li> </ul>
各地域での社会貢献	公開講座を e ラーニングで提供し社会に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を受け「ストレスマネジメント講座」を YouTube 配信。</li> <li>・令和元年度に続き八洲学園大学国際高等学校高大連携講座をオンデマンド開講。</li> <li>・SOBA e-college により 8 講座を新規開講。</li> <li>・3月に防災士養成講座を開講（来校型）。</li> </ul>
大学施設・整備の開放	大学施設・整備を一般に開放し地域に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度より小教室1部屋の貸出再開。</li> <li>・附属図書館一般開放はコロナ感染予防のため中止。</li> <li>・コロナ感染予防のための換気と防音に配慮しながら教室の一般貸出を継続。</li> </ul>

・施設・設備の整備計画

<p>令和2年度は、計画に基づき建物外壁調査を行った結果、タイルの剥離が多く危険な状態であることが判明し、年度末にタイル張替工事を実施した。その他にも緊急対応としてトイレ修繕（3階、7階、8階、9階）、館内誘導灯交換（全館）、貯水槽内消耗部品交換、補給水槽内消耗部品交換、給湯設備修繕（2階）、窓開閉不具合修繕（6階）の工事を実施した。</p> <p>令和3年度は空調設備室外機の不具合修繕の他、法令点検に伴うエレベータ部品交換工事を計画している。横浜ビルの老朽化に伴い、空調設備の更新工事、照明器具 LED 化工事等の必要性が指摘されているが、引き続き支出入のバランスを見つつ緊急性の高いものから対応していく。</p>
--

【八洲学園高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
サポートクラス運営の定着化 ホームサポートクラスの入学者増	3学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。 また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。	令和2年度の実績は会計書類参照
八洲学園中等部（フリースクール）	中等部の登録者数を増やす。 不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。	令和2年度の在籍者数 262名
支援を要する生徒さんへの就労支援の充実	支援を要する生徒さんへの就労支援の充実の為、校内模擬会社を設立し、生徒さんに入社から就労までの模擬体験を経験してもらう。	令和3年4月1日から三宮みのり高等部と技能教育連携を実施することになった。

【八洲学園高等学校】

・施設・設備の整備計画

事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期
堺本校 体育館 屋根修繕工事	屋根全体	R2 決算書に記載	R2 決算書に記載	令和2年11月～3月

【八洲学園大学国際高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
・次期学習指導要領への対応	・教育課程を新学習指導要領に対応させるための学則の改訂、およびレポート等の教材刷新。	・新教育課程編成案および現行課程からの移行計画を策定した。
・八洲学園大学との高大連携 ・ESA 音楽学院専門学校との高専連携	・八洲学園大学の公開する高大連携講座受講やESA 音楽学院専門学校の定期演奏会観覧を高校特別活動の一部に認定するなどグループ校の強みを生かして生徒の進路デザインに資する。	・令和2年度は、合計8本のコンテンツを生徒へ提供するとともに学校情報誌において両校の紹介を定期的に行った。
・教育情報システムの更新	・学校情報システムを令和4年度より移行の新学習指導要領および通信制課程にかかる学校教育法例規改正に対応させる。	・校納金処理など満たすべき仕様要件を定め、業者の選定を行った。
・新型コロナウイルス感染症対策	・安心安全な学校教育環境の構築 ・生徒・保護者への保健情報提供 ・実習科目や特別活動の活動内容の開発	・国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に準拠してハード・ソフト両面から予防対策を実施するとともに、安全安心な実習科目・特別活動コンテンツの開発を行った。

・施設・設備の整備計画

事 項	概要
・校舎の錆び止め塗装工事	・塩害による校舎の劣化を防ぐため、 宿舎の錆び止め塗装工事を行った。
・空調機器の更新	・宿舎3台、教室棟2台の取替工事完了

【八洲学園高等専修学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
学校関係者評価	生徒職員以外の大学・地域の人による評価	11月
第15回全国専攻科大会	レポート発表 共同研究者及び運営支援	コロナにより中止
他関係学会での参加・発表	特殊教育学会での発表	広域的な広報としての役割
国立大学法人 大学教育学部	連携協議会委員	コロナにより実践研修及び授業は中止。3年間の任期を3月で終了
文科省委託事業	文科省委託事業連携協議会委員参加	

【八洲学園高等専修学校】

・施設・設備の整備計画

事 項	事業費	財 源	実施時期	備 考
震診断 耐震化工事	教育研究予算	修繕費	2年中	コロナによる休業の為重機を夏休みに入れず年度末に実施

・学生生徒の就職、進学状況について

コロナ休校が長引きその分進路指導等の内容が深まり、保護者の協力も得られ全員の進路が確定した。

・今後の課題

耐震化工事について府に報告、年度ごとに積極的に取組む ただしコロナ禍で長期休みがなく工期が遅れる。

・財務の概要

経費を抑え可能な限り経営努力により経営基盤の強化に努める。

【ESA 音楽学院専門学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	進捗状況
楽器店及びリペア工房への就職、演奏家の育成、音楽隊への加入、音楽留学を目指す	本年度卒業生の進路は ・楽器店 ・楽器製造会社 ・ESA 音楽学院専門学校吹奏楽実務学科進学 ・一般職 となった

・施設・設備の整備計画

3階男子トイレの改修工事を行った。

【福岡女子商業高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
ICT 活用の充実	ICT を活用し、教育活動全般において効果的な活用を研究する。また、ICT の活用で業務の効率化を図る。	ZOOM や Google アプリの活用は日常化してきている。校務支援システム「BLEND」の導入を計画中。
特進コースの充実	進学希望の生徒の増加に伴い、国公立大学及び地元難関私立大学への進学を目指す生徒に対応し、就職、進学ともに生徒の進路実現を目指す。	学年全体で国公立大学へ15人（のべ20）の合格者を輩出。
福岡大学との連携	企業理念や経営理念を取り入れた女子商業マルシェの見直しを福岡大学商学部と連携を図り研究する。	年間4回の福岡大学学生による特別授業を実施した。
ビジネスビューティーコースの新設	「美の経営者を育てる」をコンセプトに職業人としての資質、能力、マネジメント力を身につけ、起業意欲あふれた人材を育成する。	ビジネスビューティールームを整備し、新入生30名を迎える。

【福岡女子商業高等学校】

・施設・設備の整備計画

事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期
運動場照明設置	運動場	R2 度予算書に記載	R2 度予算書に記載	R2 年 5 月
ビジネスビューティ ールーム改修	1 教室	R2 度予算書に記載	R2 度予算書に記載	R3 年 2 月

(3) 施設等の状況

現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次の通りである。

ア) 土 地

所在地	部門	種別	専用面積	取得価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	校舎敷地	838.40 m <sup>2</sup>	658,288 千円
東京都新宿区新宿	八洲学園大学	校舎敷地	162.00 m <sup>2</sup>	300,552 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	992.00 m <sup>2</sup>	105,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	327.00 m <sup>2</sup>	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	330.00 m <sup>2</sup>	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	984.00 m <sup>2</sup>	96,753 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	校舎敷地	290.00 m <sup>2</sup>	59,587 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	校舎敷地	21950.00 m <sup>2</sup>	172,505 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	その他敷地	1408.00 m <sup>2</sup>	8,540 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	その他敷地	724.00 m <sup>2</sup>	4,380 千円
沖縄県国頭郡本部町字石川知場塚原	八洲学園大学国際高等学校	その他敷地	7275.00 m <sup>2</sup>	28,366 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	校舎敷地	276.00 m <sup>2</sup>	58,500 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	校舎敷地	836.00 m <sup>2</sup>	50,400 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	校舎敷地	261.93 m <sup>2</sup>	47,337 千円
東京都新宿区新宿	法人本部	校舎敷地	134.00 m <sup>2</sup>	300,000 千円

イ) 建 物

所在地	部門	施設等	専用面積	帳簿価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	校舎	4662.19 m <sup>2</sup>	279,725 千円
東京都新宿区新宿	八洲学園大学	校舎	1112.15 m <sup>2</sup>	34,633 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎	683.93 m <sup>2</sup>	31,471 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎	304.98 m <sup>2</sup>	9,062 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎	1156.97 m <sup>2</sup>	74,230 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	校舎	1145.17 m <sup>2</sup>	117,346 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬	八洲学園大学国際高等学校	校舎	2993.62 m <sup>2</sup>	286,128 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等専修学校	校舎	1010.94 m <sup>2</sup>	3,605 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	校舎	907.59 m <sup>2</sup>	7,668 千円
福岡県那珂川市	福岡女子商業高等学校	校舎	10741.80 m <sup>2</sup>	280,651 千円
東京都新宿区新宿	法人本部	校舎	454.61 m <sup>2</sup>	27,210 千円

(4) その他

特に記載すべき事項はありません。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表の状況

ア) 資 産 現金預金が、前年度に比べ 404,354 千円の増加となった。

イ) 負 債 退職給与引当金は、退職金制度を設けていないため計上はない。

ウ) 基 本 金 第1号基本金は、建物 18,393 千円、構築物 9,790 千円、教育研究用機器備品 474 千円  
図書 468 千円、車輛 2,438 千円を取得し、教育研究用機器備品 865 千円、  
管理用機器備品 5 千円を除去した。従って、差引 30,693 千円の組入を行った。

②収支計算書の状況

ア) 収入 当年度の事業活動収入は 1,709,422 千円となり、前年度に比べ 82,014 千円増加となった。  
その主な内容は、学生生徒納付金の増加である。

イ) 支出 当年度の事業活動支出は 1,461,116 千円となり、前年度に比べ 99,166 千円増加となった。  
その主な内容は、人件費の増加と資産処分差額である。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位 千円)

科目	平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度末	令和元年度末	令和 2 年度末
固定資産	4,044,511	4,277,553	4,324,504	4,282,378	4,164,150
流動資産	2,968,450	3,312,129	3,504,041	3,808,342	4,174,066
資産の部合計	7,012,961	7,589,682	7,828,545	8,090,720	8,338,216
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	172,794	233,388	217,443	214,159	213,348
負債の部合計	172,794	233,388	217,443	214,159	213,348
基本金	5,018,129	5,286,784	5,472,152	5,509,012	5,539,706
繰越収支差額	1,822,038	2,069,510	2,138,950	2,367,549	2,585,162
純資産の部合計	6,840,167	7,356,294	7,611,102	7,876,561	8,124,868
負債及び純資産の部合	7,012,961	7,589,682	7,828,545	8,090,720	8,338,216

②収支計算書

ア) 資金収支

(単位 千円)

収入の部	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
学生生徒等納付金収入	951,574	1,125,405	1,240,169	1,252,609	1,364,199
手数料収入	25,450	28,029	28,303	29,251	27,574
寄付金収入	172	13,742	481	228	799
補助金収入	136,518	435,037	342,202	280,739	243,559
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	36,791	40,126	48,924	42,381	49,469
受取利息・配当金収入	3,462	3,241	2,853	2,765	2,187
雑収入	18,653	21,760	29,868	19,436	21,636
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	80,493	101,152	95,237	112,438	108,213
その他の収入	883,153	1,159,050	1,328,394	1,304,747	1,426,204
資金収入調整勘定	△112,116	△180,670	△219,366	△197,544	△177,093
前年度繰越支払資金	2,666,868	2,881,103	3,179,351	3,339,012	3,672,621
収入の部合計	4,691,018	5,627,975	6,076,416	6,186,062	6,739,368
支出の部	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
人件費支出	518,344	832,618	787,343	784,211	837,124
教育研究経費支出	213,855	298,009	372,177	315,816	333,639
管理経費支出	253,790	187,521	181,358	178,893	169,617
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	52,380	175,041	64,878	28,183
設備関係支出	1,988	37,625	7,698	250	3,380
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	845,418	1,073,189	1,237,132	1,178,078	1,298,978
資金支出調整勘定	△23,480	△32,718	△23,345	△8,685	△8,528
翌年度繰越支払資金	2,881,103	3,179,351	3,339,012	3,672,621	4,076,975
支出の部合計	4,691,018	5,627,975	6,076,416	6,186,062	6,739,368

イ) 事業活動収支

(単位 千円)

		科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	951,574	1,125,405	1,240,169	1,252,609	1,364,199
		手数料	25,450	28,029	28,303	29,251	27,574
		寄付金	172	12,994	481	228	138
		経常費等補助金	135,913	407,252	318,939	280,739	243,559
		付随事業収入	12,129	14,044	21,789	19,414	26,462
		雑収入	18,653	21,760	29,868	19,436	21,636
		教育活動収入 計	1,143,891	1,609,484	1,639,549	1,601,677	1,683,568
	支出	人件費	518,344	832,618	787,343	784,211	837,124
		教育研究経費	265,991	372,797	446,505	395,959	412,988
		管理経費	257,988	192,199	186,025	181,742	171,802
		徴収不能額等	0	0	2737	0	0
		教育活動支出 計	1,042,323	1,397,614	1,422,610	1,361,912	1,421,914
	教育活動収支差額		101,568	211,870	216,939	239,765	261,654
	教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	3,462	3,241	2,853	2,765
その他の教育活動外収入			24,662	26,082	27,134	22,966	23,007
教育活動外収入 計			28,124	29,323	29,987	25,731	25,194
支出		借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出 計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額		28,124	29,323	29,987	25,731	25,194	
経常収支差額		129,692	241,193	246,926	265,496	286,848	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	642	274,947	25,833	0	661
		特別収入 計	642	274,947	25,833	0	661
	支出	資産処分差額	2	12	17,951	37	39,202
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出 計	2	12	17,951	37	39,202
特別収支差額		640	274,935	7,882	△ 37	△ 38,541	
基本金組入前当年度収支差額		130,332	516,128	254,808	265,459	248,307	
基本金組入額合計		△1,989	△ 292,949	△ 188,955	△ 38,546	△ 31,288	
当年度収支差額		128,343	223,179	65,853	226,913	217,019	
前年度繰越収支差額		1,649,544	1,822,038	2,069,510	2,138,950	2,367,549	
基本金取崩額		44,151	24,293	3,587	1,686	594	
翌年度繰越収支差額		1,822,038	2,069,510	2,138,950	2,367,549	2,585,162	
(参考)							
事業活動収入 計		1,172,657	1,913,754	1,695,369	1,627,408	1,709,423	
事業活動支出 計		1,042,325	1,397,626	1,440,561	1,361,949	1,461,116	

### (3) 主な財務比率比較

(単位 %)

比率名	算式	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	44.2	50.8	47.1	48.1	48.9
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	22.7	22.7	26.7	24.3	24.2
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	22.0	11.7	11.1	11.1	10.1
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	81.2	68.6	74.2	76.9	79.8
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	11.1	26.9	15.0	16.3	14.5
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	89.0	86.2	95.6	85.7	87.1
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	11.1	14.7	14.7	16.3	16.8
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	8.9	13.1	13.2	14.9	15.5
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$	97.5	96.9	97.2	97.3	97.4
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1717.9	1419.1	1611.4	1778.2	1956.5
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	2.5	3.1	2.8	2.7	2.6
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	99.8	100.0	100.0	100.0

### (4) その他

#### ①有価証券の状況

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	(株)神戸製鋼所	500	277,043円	374,000円	有価証券
株式	南海電気鉄道(株)	6,200	4,850,460円	15,760,400円	有価証券
計		6,700	5,127,503円	16,134,400円	

#### ②寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
一般寄付金	卒業生他	137,595円	八洲学園大学 福岡女子商業高等学校
特別寄付金	卒業生他	661,000円	福岡女子商業高等学校



### ③収益事業の状況

駐車場業及び不動産賃貸業を行っており、その状況は次のとおりである。

(単位 千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
流動資産	8,635	8,083	8,158	8,244	7,963
固定資産	193,994	188,987	184,118	179,317	174,574
資産合計	202,629	197,070	192,276	187,561	182,537
流動負債	5,588	8,155	7,119	6,532	6,494
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	5,588	8,155	7,119	6,532	6,494
純資産合計	197,041	188,915	185,157	181,029	176,043
負債・純資産合計	202,629	197,070	192,276	187,561	182,537
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
売上高	40,541	45,790	47,379	51,520	47,879
販売管理費	43,084	50,519	51,737	53,595	50,494
営業外損益	0	0	0	0	0
当期純損益	△2,543	△4,729	△4,358	△2,075	△2,615

### ④関連当事者等の取引の状況

ア) 関連当事者 イ参照

イ) 出資会社 (学園が2分の1以上の出資をしている会社)

会社等の名称	事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容	人事上の関係
株式会社ボードス	学習塾	10 百万円	100%	—	役員 1 名 取締役を兼務
株式会社SOBAエデュケーション	情報サービス	60 百万円	50%	支払額 2791 万円	役員 1 名 取締役を兼務
学校運営機構株式会社	経営コンサルティング	31 百万円	96.7%	受入額 327 万円 支払額 2785 万円 貸付金 18200 万円	役員 1 名 取締役を兼務
株式会社イノーヴィンタラクティブ	情報サービス	30 百万円	100%	受入額 121 万円 支払額 2242 万円	役員 1 名 取締役を兼務

以 上